

第11回 旧川復元小委員会資料

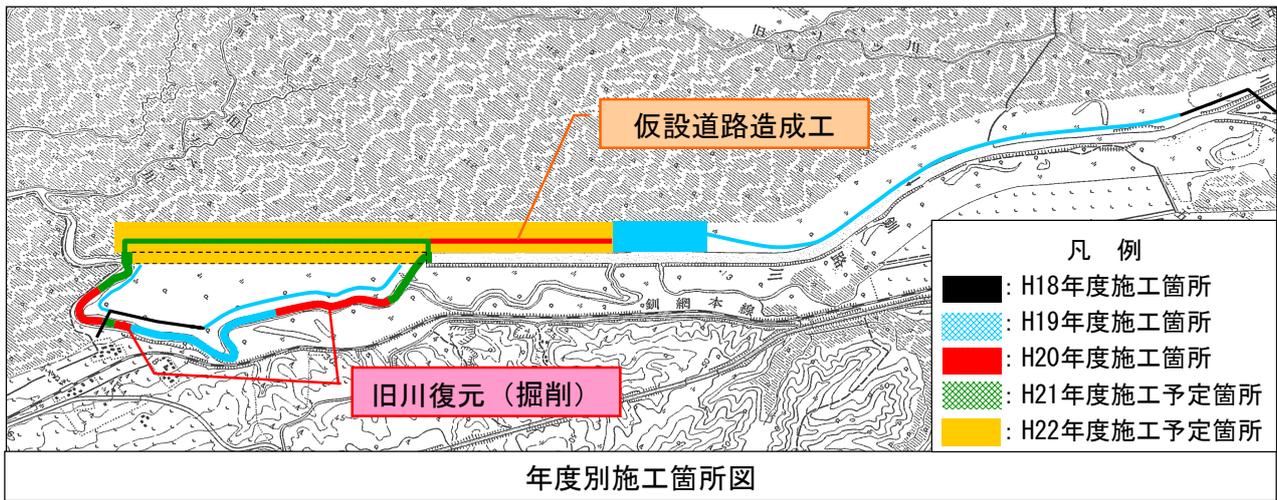
1. 平成20年度の実施状況
 - 1-1. 実施概要
 - 1-2. 主な配慮事項
 - 1-3. 平成20年度の工事実施状況
 - 1-4. 動植物の移動・移植の実施
 - 1-5. 地域との協働
2. 平成21年度の実施予定
 - 2-1. 平成21年度の実施予定概要
 - 2-2. 動植物の移動・移植の予定

1. 平成20年度の実施状況

1-1. 実施概要

平成20年度は、旧川復元(掘削)および仮設道路造成工を実施した。

項目 \ 年度		H18	H19	H20	H21	H22
施工 工程	仮設工					復元河道通水予定
	右岸残土撤去(400m)					
	旧川復元(掘削)					
	直線河道埋戻し・右岸残土撤去					



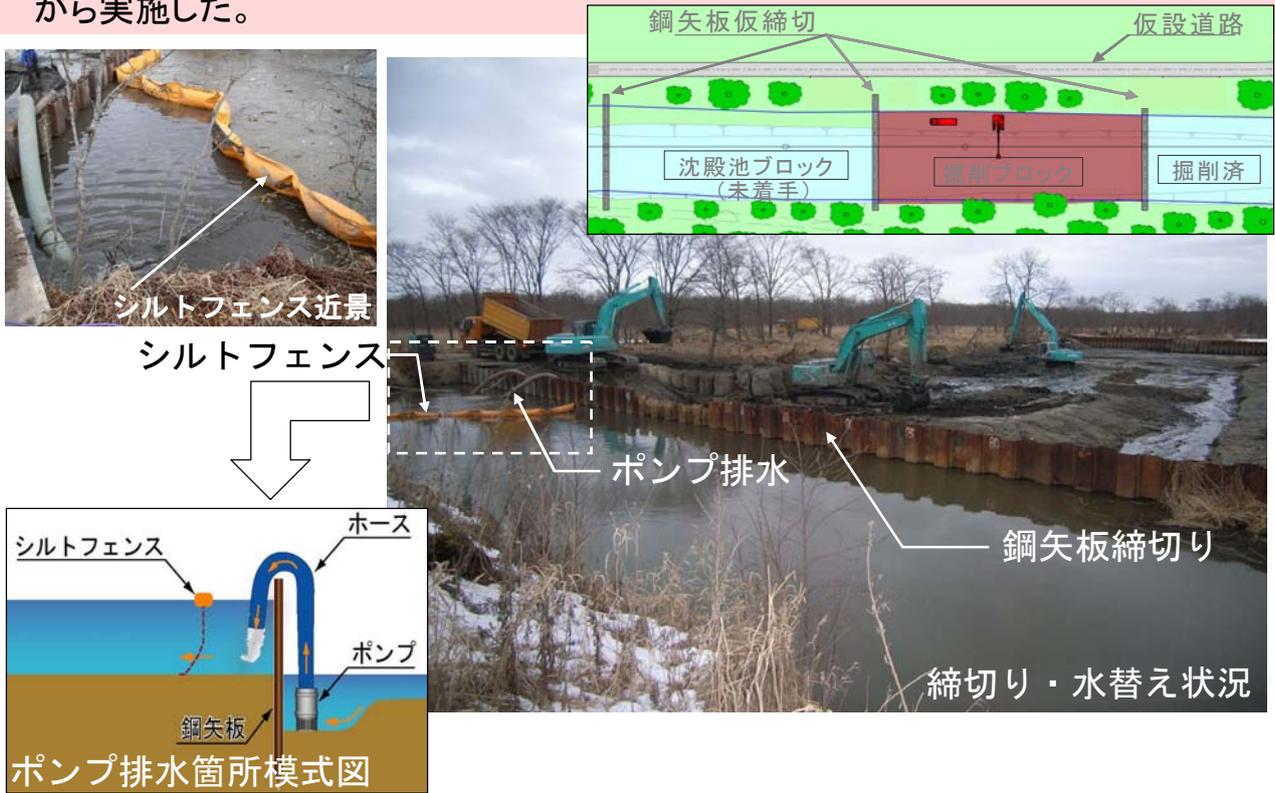
1-2. 主な配慮事項

工事の際に周辺環境に極力影響を与えないよう、以下の項目に配慮して実施した。

- ① 締切矢板の打ち込み時などに、従来機より低騒音・低振動な重機を使用。
- ② 専門家によるタンチョウの生息域調査を実施し、現場周辺のタンチョウの行動状況を図化して現場作業従事者全員に周知。
作業箇所周辺にタンチョウが飛来した場合は、一時的に作業中止する体制を確立。
- ③ 工事で直接影響を受ける貴重な植物や旧川の魚類などについては、工事前に極力、移植・移動を図った。

1-3. 平成20年度の工事实施状況

- ・ 旧川の底泥掘削は、鋼矢板でブロック毎に仮締切りをして、ポンプにより排水しながら実施した。



1-3. 平成20年度の工事实施状況

- ・ 魚類の生息環境に配慮し、河床にあった沈木は底泥掘削後に河床に戻した。
- ・ 右岸残土撤去箇所の工事用道路の造成を行った。



1-4. 動植物の移動・移植の実施

①平成20年度の動植物の移動・移植実施状況

- ・ 動植物の移動・移植は、工事箇所を対象に事前に行った。



貴重種(ネロコウ林)の移植状況



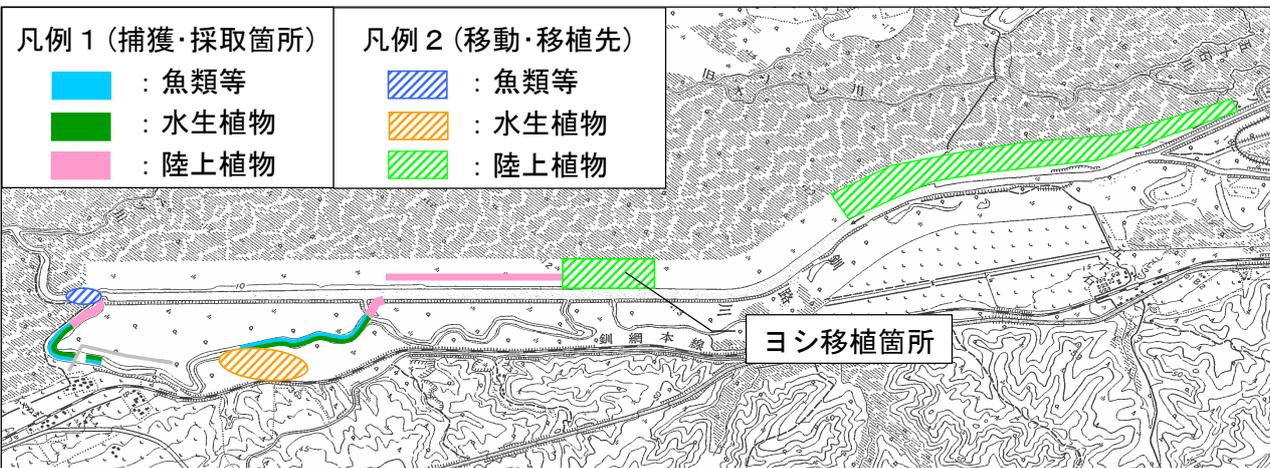
捕獲した魚類の放流

	項目	H20			
		春	夏	秋	冬
施工工程	仮設工				
	右岸残土撤去(400m)				
	旧川掘削				
	直線河道埋戻し 右岸残土撤去				
調査および 移植・移動 の時期	陸上植物	●	●	●	
	水生植物		●	●	
	魚類等		●	●	●

1-4. 動植物の移動・移植の実施

①平成20年度の動植物の移動・移植実施状況

- ・ 平成20年度は、下図の箇所では魚類等の移動および植物の移植を実施した。
- ・ 旧川で捕獲した魚類は釧路川本川へ移動した。
- ・ 植物は移植対象種の生育に適していると考えられる場所に移植した。



平成20年度の移動・移植実施箇所

1-4. 動植物の移動・移植の実施

③ 移植対象植物と移植実績

- 平成20年度の現地調査で確認した移植対象植物と移植実績を下表に示す。

No.	科名	種名	移植実績			選定根拠	区分 陸上/水生
			H18	H19	H20		
1	キンポウゲ	シコタンキンポウゲ	○			環境省RDB, 絶滅危惧 I B類	陸上植物
2		キタミフクジュソウ		○	○	北海道RDB, 絶滅危急種	
3	ユキノシタ	エゾネコノメソウ		○	○	環境省RDB, 絶滅危惧 I B類	
4	シソ	エゾナミキソウ	○		○	環境省RDB, 絶滅危惧 I B類	
5	カヤツリグサ	エゾハリスゲ			○	環境省RL, 絶滅危惧 I B類	
6	スイレン	ネムロコウホネ		○	○	北海道RDB, 絶滅危急種	水生植物
7	ヒルムシロ	イヌイトモ		○	○	環境省RDB・RL, 絶滅危惧 I A類 北海道RDB, 絶滅危惧種	

- 平成19年度までに移植を行った貴重植物の今年度の生育状況 ⇨



シコタンキンポウゲ



エゾネコノメソウ



ネムロコウホネ



キタミフクジュソウ



エゾナミキソウ



イヌイトモ

1-4. 動植物の移動・移植の実施

④ 平成20年度の魚類等の移動実績

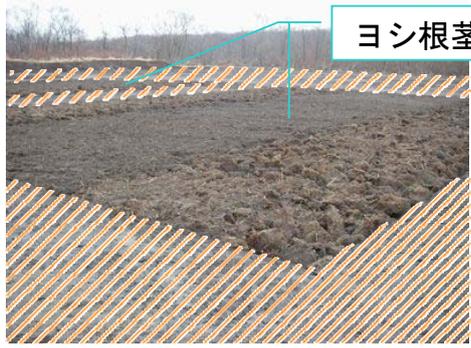
- 平成20年度は、27種の魚類等を捕獲し、移動した。
(平成19年度は、21種。)

魚類等の移動実績一覧

目名・科名	種名	移動実績		目名・科名	種名	移動実績	
		H19	H20			H19	H20
ヤツメウナギ科	カワヤツメ	○	○	トゲウオ科	イトヨ属の一種	○	○
	カワヤツメ属の一種	○	○		エゾトミヨ		○
コイ科	コイ		○	ハゼ科	トミヨ属淡水型	○	○
	ゲンゴロウブナ	○			ジュズカケハゼ	○	○
	ギンブナ	○	○	アカガエル科	エゾアカガエル	○	○
	フナ属の数種	○	○	トンボ目	トンボの幼体(ヤゴ)	○	○
	ヤチウグイ	○	○	マツモムシ科	マツモムシ科の一種		○
	ウグイ	○	○	タイコウチ科	ミズカマキリ		○
	エゾウグイ	○	○	トビケラ目	トビケラ類		○
	ドジョウ科	ドジョウ	○	○	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ科の一種	
フクドジョウ		○	○	タニシ科	タニシ科の一種		○
エゾホトケドジョウ		○	○	イシガイ科	イシガイ科の一種	○	○
キュウリウオ科	ワカサギ	○	○	テナガエビ科	スジエビ	○	○
サケ科	アメマス	○	○	H19年度の魚類等の移動実績		21 種	
	サクラマス(ヤマメ)	○	○	H20年度の魚類等の移動実績		27 種	

1-4. 動植物の移動・移植の実施

⑤ヨシ移植箇所モニタリング



ヨシ根茎移植箇所

- ・ヨシの根を含む表土を敷均すなどした結果、
ヨシの根茎を導入したほとんどの場所で
ヨシの生育が確認された。

平成20年3月ヨシ（根茎等）移植直後の状況



平成20年7月下旬



平成20年9月上旬



平成20年10月上旬

植生回復状況

1-4. 動植物の移動・移植の実施

⑥ヨシ根茎移植を行わなかった箇所のモニタリング



ヨシ根茎移植を行わなかった箇所

- ・ヨシの根を含む表土を敷均さなかった箇所においても、
湿生植物のイグサ類が繁茂し残土撤去箇所全体が植生で覆われた状況になった。

平成20年3月



平成20年11月

ヨシの移植を行った箇所だけではなく、
全体が湿原植生で覆われた。

●確認された植物(ヨシ以外)



コウガイゼキショウ



イ

5cm

1-5. 地域との協働

- ①右岸残土撤去箇所でのヨシの移植および外来種の抜き取り
平成20年は、7月～8月に大学生、川レンジャー、教職員等と計4回行った。



移植用ヨシの刈取り状況



水耕苗の仕立て状況



ヨシの移植状況



外来種の抜き取り状況

1-5. 地域との協働

- ②旧川掘削箇所での水生植物の移植および魚類の移動
平成20年は、10月に川レンジャー、高校生らと計2回行った。

●水生植物の移植作業



現地での説明



水生植物の移植準備作業状況

●魚類の移動作業



捕獲魚類の同定・計数



捕獲した魚類の放流